

クラウドファンディングへのご支援
ありがとうございました

高校生ボランティア・アワード2021の開催にあたり、90日間にわたって743名の皆様から、
9,275,000円のご支援をいただき、無事に開催することができました。心より御礼申し上げます。

高校生ボランティア・アワード クラウドファンディング寄贈者 ご芳名

阿部 玲子 様 石関 政美 様 お笑い袋 山本 知佐子 様 木村 信夫 様
小林 康子 様 田島 幸枝 様 富永 光孝 様 船越 博之 様 矢野 英之 様
勇不動産コンサルタント 内藤 様 (株)ビッグ・ハンズ大分 代表取締役 小林 晃 様

※10万円以上の寄付コースのリターンとして、ご希望者様のみ掲載させていただきました。

主催



公益財団法人
風に立つライオン基金
THE LION STANDING AGAINST THE WIND FOUNDATION SINCE 1976



名古屋国際会議場
NAGOYA CONGRESS CENTER

共催



東海ラジオ
AM1332kHz FM92.9MHz



東海テレビ放送

中日新聞社

後援



内閣府



社会福祉法人
NHK 厚生文化事業団



愛知県

愛知県教育委員会

愛知県社会福祉協議会

協賛



家族の愛は家で育つ
アイダ設計



カーボンビニ倶楽部



SANCON 三交インホテルズ



SOMPOケア
介護の未来を変えていく



DNP
大日本印刷



デンタルクルーズ
医療法人社団 高輪会



家の速
HOMETATSU JAPAN



マイナビ進学



溝上薬局



ライオンズ

特別応援



MEDECINS SANS FRONTIERES
国境なき医師団



公益財団法人
風に立つライオン基金
THE LION STANDING AGAINST THE WIND FOUNDATION SINCE 1976



君の志を応援します！
We support your aspirations.



高校生ボランティア・アワード 2021

大会報告サマリー

高校生ボランティア・アワード2021
大会データ
VOLUNTEER AWARD 2021

エントリー数 113団体(129校)

参加数 108団体(124校)



会場入り口に作られたゲート前に、大会委員長のさだまさし、応援団のテツandトモのお二人と司会進行の川島葵アナウンサーが揃って、生配信スタート。

発表交流会

【日程】7月27日～8月3日
【実施回数】11回
【参加団体数】102
【内容】4団体～12団体のグループに分かれて、上記の日程で実施。3分間のプレゼン後、質疑応答。同グループの参加団体同士の投票により8月17日の全国大会で発表する16団体を選抜。

動画・ポスター WEB投票大会

【日程】8月1日 0:00～8月14日 23:59
【投票数】26,546票
(動画 13,455票 / ポスター 13,091票)
【内容】参加団体が提出した団体の活動を紹介する動画とポスターを大会公式WEBサイトにアップし、一般を含む投票大会を実施。

全国大会

【日程】8月17日 10:00～17:30
各団体はzoomでの参加。
全編、YouTubeによる生配信を実施。
【視聴回数】5,227回

会場内に入ると、大型のビジョンに高校生たちが勢揃い。



新型コロナウイルス感染症の第5波が日本で猛威をふるう中、高校生のかげがえのない貴重な体験になりうることを考慮し、会場開催に向けて直前まで検討を重ねてまいりました。しかしながら、高校生や参加者の方々の安全を最優先にすべきと、第6回目の「高校生ボランティア・アワード2021」は、昨年に続いてのオンライン開催となりました。

活動が制限されている高校生たちは、それでも「今、自分たちにできること」を模索しながら、活動を続けてきました。だからこそ、オンラインであっても全国の志を同じくする仲間たちと時間と思いを共有することは、大きな勇気に繋がったことと思います。

9:30～10:00	受付	
10:00～10:15	開会式	
10:15～12:00	発表大会(前半) 選抜8団体	進行 川島葵 出演 さだまさし、テツandトモ
12:00～13:00	休憩	
13:00～14:45	発表大会(後半) 選抜8団体	
14:45～15:05	財団紹介VTR	
15:05～16:00	シンポジウム	進行 川島葵、テツandトモ パネリスト 【会場】 さだまさし、野口健 【リモート】 久留宮隆、鎌田實、新羅慎二、高城れに
16:00～16:15	休憩	
16:15～17:15	表彰式	進行 川島葵 パネリスト 【会場】 さだまさし、野口健、テツandトモ、井上健太郎(名古屋国際会議場・副館長) 【リモート】 林成治(カーコンビニ倶楽部・社長)、久留宮隆、鎌田實、新羅慎二、高城れに
17:15～17:30	閉会式	



最優秀作品

市立札幌開成中等教育学校 郷 瑛太さん

優秀賞作品



札幌聖心女子学院高等学校
原田 安珠 さん



愛媛県立宇和島東高等学校
辻 彩花 さん



N高等学校(埼玉県)
荒井 大輝 さん



エクセラ高等美術科
デザイン・メディア専攻2年(長野県)
小松 紗依 さん



市立札幌開成中等教育学校
戸田 結衣果 さん

入選者には、賞状及び副賞を贈呈しました。
●最優秀賞 副賞:3万円分の図書券 / ●優秀賞 副賞:5千円分の図書券

高校生ボランティア・アワード 2021

発表大会

8/17 Tue

VOLUNTEER AWARD 2021



発表大会の進行は、元東海ラジオ、現在はフリーの川島葵アナウンサー。コメントーターとして、さだまさしとテツandトモのお二人が参加しました。

zoomによるオンラインではありましたが、2016年大会以来久しぶりのステージ発表を実施しました。全団体のブース発表の実施が不可能と判断したところで、代表団体によるステージ発表に切り替え、7月27日から8月3日にかけて、11回に分けてオンラインで発表交流会を行いました。102団体が参加し、その結果、互選によって16団体が選抜され、発表大会を行いました。



Entry number **018** 奈良県立情報商業高等学校・奈良県立商業高等学校 部局たまつえ

活動タイトル **桜井をもっとメジャーに！ 今だからこそできること**

昨年度から続くコロナ禍で、フードドライブを開催し、桜井市社会福祉協議会と連携し、市内の子ども食堂に集まった商品を提供。本年度より、生理の貧困対策として、たまつえガールズによる「桜プロジェクト」を始動し、校内の女子トイレに生理用品を常設。



Entry number **030** 大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程 ボランティア活動部

活動タイトル **被災地支援による環境保全プロジェクト**

「東日本大震災」以来「復興支援プロジェクト」を立ち上げ、毎年「包丁」と「線香」を被災地に手渡している。被災地の高校生と「コラボ線香」を作って支援をしたり、被災地を「椿の花」でいっぱいにする「レッドカーペットプロジェクト」に取り組んでいる。地球温暖化防止のために「バイオディーゼルの発電機」、「プラスチックゴミ」から油を作る「プラスチック油化装置」も製作。



Entry number **003** トライ式高等学院 千種キャンパス 課題研究講座ボランティアコース

活動タイトル **里親普及啓発活動 ～すべての子供に温かい家庭を～**

親と暮らせない子供を迎えて共に生活する里親を増やすため、PR動画制作やチラシ配り、イベント運営のボランティアを通した里親普及啓発活動を行っている。



Entry number **004** 神戸市立科学技術高等学校 空飛ぶ車いす研究会

活動タイトル **空飛ぶ車いす活動**

使われなくなった車いすを点検・修理し海外へ寄贈している。国内で年間5万台廃棄される車いすの一部を提供してもらい、工業高校生が事業で培った技術を活かして、もう一度車いすの命を吹き込み海外で必要とされる方へ寄贈している。



Entry number **055** 徳島市立高等学校 家庭クラブ

活動タイトル **infinity ～徳島の可能性は無限大～**

家庭クラブとJRC部がコラボをして、地域創生活動を中心にさまざまな活動を行っている。現在は藍食と晩茶に力を入れている。子ども食堂へボランティアに行ったり、大学生と一緒に清掃活動に参加。藍食の普及に向けてドレッシングや焼き菓子を商品化し産直市で販売。



Entry number **057** 桜花学園高等学校 (愛知県) インターアクトクラブ

活動タイトル **未来に羽ばたけ! しあわせ届け隊**

地域の方々に笑顔・喜びを届けるため、しあわせ届け隊をつくり、保育園や福祉施設を訪問し、「ミュージックベル」「手遊び」等を利用して、施設の方々と触れ合いながら交流。近年は、「マジック」や「バルーンアート」を取り入れるなど活動の幅を広げている。オリジナルの「不思議発見! 鶴舞公園」という散策イベントを立ち上げたり、花しょうぶ栽培プロジェクトも実施。



Entry number **006** 身延山高等学校 (山梨県) 手話コミュニケーション部

活動タイトル **震災を忘れない ～ろう者との10年間の絆～**

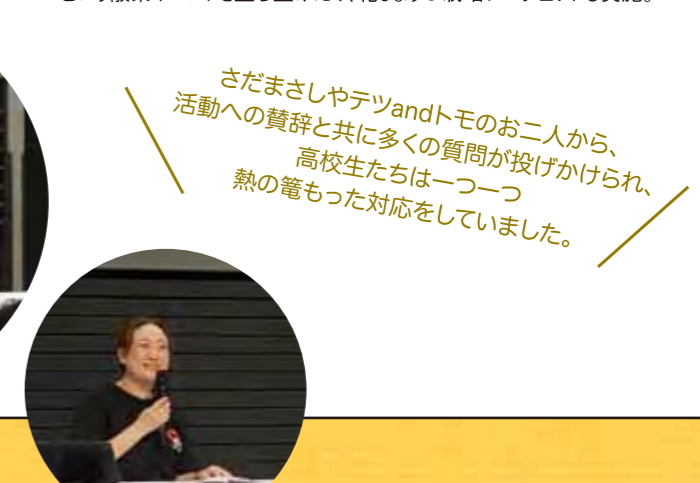
手話の普及と聴覚障がい者の理解を目的に、①保育園・幼稚園・小中高での手話教室 ②東北復興地へのボランティア ③山梨県立ろう学校との交流 ④全国高校生手話パフォーマンス甲子園出場 ⑤地域イベントでの手話発表など。



Entry number **009** 青森県立名久井農業高等学校 環境班 Hunters

活動タイトル **視点はSDGs ～日本の伝統技術で世界に貢献～**

日本伝統の土壌固着技術「三和土」を用いて、雨季の乾燥地で貴重な雨水を集めると共に、雨季のスコールによる土壌流出を抑制できる技術開発に成功。これを利用し、安全な食と水を確保できない開発途上国の持続的農業や環境保全に貢献する技術開発と普及に取り組む。



さだまさしやテツandトモのお二人から、活動への賛辞と共に多くの質問が投げかけられ、高校生たちは一つ一つ熱の籠もった対応をしていました。

高校生ボランティア・アワード 2021

発表大会

8/17 Tue

VOLUNTEER AWARD 2021



内容は環境問題や介護福祉、国際協力、被災地復興、医療、農業などなど、本当に様々な分野で、工業高校や農業高校のように学校の特性を活かした活動であったり、多くの学校の生徒が集まって一つの団体を形成して地域おこしをしたり、常連校あり新規校あり、まさに「みんな違ってみんないい」活動のオンパレード。

質疑応答では、大会委員長のさだまさしやテツandトモさんからのコメントに真剣に聞き入る場面や、高校生同士で質問や感想を伝え合い、大いに交流してもらいました。

住んでいる場所や活動が違っても志は一つ。「誰かのためにになりたい」その思いで頑張っていることがひしひしと伝わってきました。



Entry number 096 佐賀県高校生ボランティア団体 SAGAでんと

活動タイトル withコロナ時代ゆえの『ふるさと佐賀』での様々な課題解決のために高校生だからこそできる活動

主な3つのプロジェクトは「GoTo献血キャンペーン」「子ども支援」「地域支援・高校生お助け隊」。隙間時間にできることをできる人がするという気的なボランティアスタイルのあり方が今後全ての人に必要とされるSDGs精神に繋がると考えている。



Entry number 098 栃木県立栃木工業高等学校 国際ボランティアネットワーク

活動タイトル 実践してみよう！ 地域と世界をつなぐボランティア活動を

①タイ王国ボランティア交流研修／毎年タイ王国を訪問、各地で集められた車いすを修理しながらタイの人々と交流をする活動。2019年までに27回(27年)実施。②空飛ぶ車いす活動／本校に寄贈された車いすを本校生が修理。修理された車いすは、東南アジアを中心とした国々へ2021年までに21ヶ国、2,156台を寄贈。



Entry number 065 宮崎学園中学・高等学校 インターアクト部

活動タイトル Pamodzi

最貧国と言われるアフリカ、マラウイの女性団体にバッグの製作をオーダーし、販売。マラウイについて勉強会を行い、「かわいそう」「支援」ではなく、純粋に、このステキなバッグを多くの人に知ってもらい、好きになってもらうこと、高校生の私たちの感覚を活かし、「流行」を生み出すことに重点を置いている。



Entry number 069 福岡県立直方特別支援学校 肢体不自由教育部門高等部AB類型

活動タイトル 私たちにできる地域貢献活動

障がいがあっても誰かの役に立ちたい、という思いから始まった傾聴ボランティア。地元の菓子店やカフェ、染め物店とのコラボ商品の開発・製作・販売、その収益を直方市のチューリップ祭に寄付。祭が中止になった昨年度はいただいた球根を育てて校内で楽しんでもらうなど、循環型の活動を進めている。



Entry number 105 オイスカ高等学校(静岡県) 環境SDGsプロジェクト

活動タイトル 浜と松プロジェクト

砂丘「浜」と市木「松」をテーマに自然科学を学び、生態系保全、防災力の向上、美しい景観、憩いを目的とした環境保全活動を行う。さらに大地震に備え、全長17.5km・高さ13mの防潮堤工事が中田島砂丘を横断し、生態系を調査。海岸保全活動を通して、砂丘の魅力を発信。



Entry number 106 海陽中等教育学校(愛知県) STARCLE

活動タイトル 参考書を必要とする方たちの手元に届けるオンラインサービス

参考書を満足に手に入れることができない子どもがいるという問題を解決するため、寄付により集まった参考書を必要とする方たちの手元に届けるオンラインサービス「STARCLE」。1500冊の豊富な在庫を備えており、在庫管理の徹底と教材の選別を行うことで、誰でも状態の良い参考書を無料で簡単に手に入れることができる。



Entry number 070 青森県立五所川原農林高等学校 6次産業研究室

活動タイトル 「青森りんご」を活用したフードバンクプロジェクト ~子ども食堂に旬の農産物を届けるための仕組みづくりと実践~

自分たちで育てた「青森りんご」を活用したフードバンク。廃棄予定のりんごを使って加工品を開発し、収益でりんご以外の農産物を子ども食堂に届ける活動や、県内で子ども食堂を運営する団体に農産物や加工品を届ける活動。



Entry number 078 中部大学春日丘高等学校(愛知県) インターアクトクラブ

活動タイトル 目の前の人を笑顔に

特に力を入れているのは、経済的に困難な子どもたちを対象とした無料塾。もう一つは「いっぱいありがとうカンパニー」。障害者の方にお仕事をしてもらい、仕事を通して障害者の方々に心からのありがとうを届けることを目指している。障害者の方々の作品展示と商品販売を行う1万人規模のイベントを企画。



思わず爆笑、大拍手という発表もありました!



活動内容もプレゼンの巧みさも、甲乙つけがたい発表ばかりで、4時間近い発表大会はあっという間に過ぎていきました。





発表大会の後は、恒例となっている著名人を迎えたシンポジウムを開催しました。

会場では、引き続きご参加くださったテツandトモさんに加え、アルピニストの野口健さんがご参列くださり、オンラインで、国境なき医師団日本会長・久留宮隆先生、諏訪中央病院名誉院長にして風に立つライオン基金評議員の鎌田實先生、新羅慎二さん、ももいろクローバーZの高城れにさん、そしてさだまさしの総勢7名がパネリストとして参加。参加高校の生徒たちが事前に答えてくれたアンケートを元に、パネリストから高校生に質問を投げかける形で実施しました。

質問／テツandトモ

回答／和歌山信愛中学校高等学校 Global Activity Club 納谷 咲良さん

- A1 ありがとうございますことだと思います。
- トモ どんな時にそう思いましたか？
- 納谷 友だちと『ありがとう』を言い合っていて、ありがとうという言葉ほど、嬉しい気持ちになる言葉はないなって、本当にすごい言葉なんだと思いました。
- テツ 素敵なコメント、ありがとう！
- さだ コンサートでお客さんから、ありがとうって言われると本当に嬉しいね。
- 新羅 家族とか、スタッフとかに『ありがとう』を言うようにしています。
- 高城 ちっちゃなことでも、ありがとうって自然と言えるように心掛けています。

パネリスト



当法人評議員
諏訪中央病院 名誉院長
鎌田 實



国境なき医師団(MSF)日本会長
外科医
久留宮 隆



当法人設立者・理事
シンガー・ソングライター、小説家
さだまさし



ももいろクローバーZ
高城 れに



お笑い芸人
テツandトモ



湘南乃風「若旦那」
ミュージシャン
新羅 慎二



アルピニスト
野口 健

質問／野口健

回答／中部大学春日丘高等学校
インターアクトクラブ
小倉 彩香さん

- A1 祖母の家に中々遊びに行けなく祖母の容態を確認できないこと。
- 野口 家族ともなかなか会えなくなっているわけじゃないですか。おばあちゃんの容態を気にしているところが心に残りました。それと2番目の質問だけ回答なし。これも気に入りましたね。
- 小倉 SDGsは小学校から知っていたんですけど、いろんなテーマがあるので、何から考えたら良いかわからなくて、迷っているうちに送信してしまいました。
- さだ 他人のために頑張っていたら、大抵SDGsに当てはまるから、そんなに心配しなくていいと思う。
- 野口 SDGsという言葉に振り回されなくてもいいと思うんだよね。
- テツ 簡単に言えば、『(S)すごく(D)大事だから(G)頑張って(s)しよう』の略だからね(笑)。



質問／久留宮隆

回答／栃木県立小山西高等学校 JRC部
鈴木 風香さん／山田 紗由さん

- A1 コロナ禍で様々な行事を行えたことは、学校の先生方に感謝の気持ちでいっぱいでした。
- A1 何事もなく学校に毎日行けたことは当たり前ではないこと。
- 久留宮 この2つは共通する点があって、私たちが普段活動している国と日本を比べると、日本で当たり前と思っていたことが、そういった国では実は当たり前ではないということがよくあるんです。今回のコロナでどんなことを感じたのかを教えてください。

鈴木 行事が全然行えない状況で、その中でも先生方が『何かやろう』って言って感染対策をしながら、特別な形にはなりましたが、工夫して計画を立てて、毎年行っていた行事を行えたことに感謝しています。

久留宮 当たり前と思っていることでも、実はその裏でいろんな努力あって自分たちが出来ているんだなってことが今回のコロナでよくわかったことなんじゃないかと思います。

山田 当たり前のようにやっていた部活や授業さえも制限され、友だちにも会えなくなりましたが、少しずつ元の生活に戻っていけるのがすごく嬉しいです。

久留宮 コロナ禍で、世界で同じように苦しんでいる人たちがいることを同じ立場で理解できたことは、皆さんにとっても成長の一つだと思います。

さだ 当たり前にできていたことは、簡単にできることではなくて、すごい奇跡につながっていたことによりやく気がついたってことですよね。

質問／新羅慎二

回答／日本女子大学附属高等学校 人形劇団ペロッコクラブ
大串 舞香さん

- A2 私は異常気象や温暖化といった、気候変動に関する問題にとっても興味があります。それは数年前、私たちと同じ世代であるグレタ・トゥーンベリさんが、環境問題について声を上げていたことに感銘を受けたからです。それに日本は、先進国の中で二酸化炭素排出量が抑えられていない国だ、という話をよく聞くので、今の私たちはもっと環境問題について考えるべきだと思っています。

野口 日本はどうやって環境問題を克服してきたかを、いろんな国々に伝えていくことが日本の役割だと思います。

新羅 環境問題の本を自費出版しました。楽しみながら再利用をすること。ゴミを出さない生活、コンポストを覚えました。使わなくなった物を土に戻して堆肥にすることをやっています。



- Q1 この1年半で、当たり前だと思っていたけど、実はとても大切なことだったと気づいたり、誰か(何か)に感謝したという経験がありましたら、教えてください。
- Q2 ご自身の活動とは違っても構いませんが、SDGsの中で気になっている社会課題はありますか。理由もあわせて聞かせください。
- Q3 これからの未来に向けて、いま、私たち高校生ができることはなんだと思いますか。



高校生ボランティア・アワード 2021

シンポジウム

VOLUNTEER AWARD 2021



質問／高城 れに

回答／岡山県立倉敷古城池高等学校 ワッショイ!とーかーず 子ども食堂チーム 吉田 由良さん

A3 地域づくりに関心を持つことと、自分自身の意見を持つこと。それをコンテストで発表することで、それぞれのたくさんの地域のシステムなどを知ることができ、学んだシステムを自分の地域に伝え、地域がより良くなる。逆に、自分たちの地域の良いシステムを伝えることで、そのシステムが全国に広まるかもしれません。同世代の人達はもちろん、違う世代の人達の意見を沢山聞き、地域づくりに参加することだと思います。

高城 同世代でも意見は人それぞれで、違う意見を聞くことや、違う世代の意見を聞くことは、生きる上でプラスになる、ためになることが沢山あると思います。吉田さんなりの地域の発見や関心を持った時に、こういうところをアピールしたいないうところはどんなところですか？

吉田 子ども食堂で学んだことは、奥手な子は楽しいという感情を素直に表現できない子もいる。楽しいにもいろんな出し方があるんだということを知りました。

質問／さだまさし

回答／宮崎学園中学校高等学校 インターアクト部 原口 陽花さん／日高 七海さん 高山 理好さん／松尾 彩加さん

A3 まずは、明るい平凡な生活を取り戻すため、マスク着用、活動自粛など、日々のコロナへの対策、そして世界中の人が平和に過ごすことができるよう、私たちにもできるSDGsの取り組みを見つけ、実行していくことだと思います。このボランティアアワード、また日々の部活動を通して、私たちにできることは何かを色々考えてきたと思うので、これからは周りの人とともに、実行していきたいです。

さだ 悩むことは大切なんだけど、出た結論を実行するのはもう一つ大変なこと。それを感じてくれていると思います。具体的に、これをやろうと思っていることがありますか？

宮崎学園 学校でSDGsを普及させるために、校内放送を行っています。特に気になるのがエネルギーの問題で、使わない電気を消すように、スイッチのところにSDGsの7番のシールを貼っています。

さだ 我々が当たり前に取り扱っているエネルギーについて、本当に必要なか必要ではないのか、無駄な電気は使わないように考えなければいけないですね。



質問／鎌田 實

回答／トライ式高等学院千種キャンパス 課題研究講座ボランティアコース 榊原 果歩さん／池野谷 美羽さん

A2 つくる責任、つかう責任

鎌田 高校生にとって、つかう責任って例えばどういうことですか？

榊原 他のコースで、捨てられた傘を再利用して新しいものを作るということをやっている人がいて、それを見た時に、そういう再利用方法があるんだと関心を持ちました。

鎌田 使う以上は一回だけじゃなく、再利用したり、思いも寄らない新しい使い方を作ったりできたら、世の中がもっと面白くなっていくかも知れませんね。つかう人が、作る人に『こんなふうにつくってくれよ』ってフィードバックしたら、無駄が減っていく可能性もありますね。

A2 質の高い教育をみんなに。私は不登校の経験があり、その当時きちんとした教育を受けることができなかったからです。不登校は本人だけが問題でない場合も多く、それを理由に進学を諦めて欲しくないなど思ったからです。

鎌田 池野谷さんは自分が辛い経験をしたことを元に、教育をどう変えたいと思う？

池野谷 勉強ができない、教育が受けられない辛さは、日本ではあまり感じることができない課題です。教育系の職に就きたいのですが、海外の僻地など学校に通えない子や日本でも家で教育が受けられたいと思います。

新羅 みんな同じようなことを詰め込まれてやるより、芸術面から学ぶことは多いと思うので、映画とか本とか音楽とか、心の教育みたいなものを大事にしてもらいたいと思います。

鎌田 質の高い教育とは『希望』を教えられるかどうか。「学ぶ」ことは、数学や英語だけでなく、より広くスポーツや音楽や執筆

Q1

この1年半で、当たり前だと思っていたけど、実はとても大切なことだったと気づいたり、誰か(何か)に感謝したという経験がありましたら、教えてください。

Q2

ご自身の活動とは違っても構いませんが、SDGsの中で気になっている社会課題はありますか。理由もあわせてお聞かせください。

Q3

これからの未来に向けて、いま、私たち高校生ができることはなんだと思いますか。

などいろんなことができる場。それは結局希望なんじゃないかと思っています。高校生ボランティア・アワードは、希望ニッポンっていう気がします。

野口 勉強しながら寄り道・遠回りして、学校でできないことを、世界を旅して歩いて見て感じることも大事だと思います。

トモ 人生は楽しいことだけではなく、苦しいことのほうが多いくらいです。だから楽しいと感じることができるんだと思います。苦しいことがあっても自分を見つめ直して一步一步進んでいくことが大切だと思います。

久留宮 人は生きること。どう生きるかということがすごく大事なんですね。海外では、4歳の子どもが赤ちゃんを世話していたりしますが、それはそれで人生の勉強をしていると思います。物を考える力、何かをやるとうとする意志を持つことが大事です。

さだ 今日、自分の心の中の希望を失わず、自分に向き合っていくということを勉強しました。

シンポジウム終了後、野口健さんが代表を務めるNPO法人ピーク・エイドと風に立つライオン基金が災害時支援協定を締結することが発表されました。今後、力を併せて様々な支援を行っていきたいと思います。是非、応援よろしくお願いたします。



特別表彰式

高校生ボランティア・アワード 2021

VOLUNTEER AWARD 2021



アイダ設計賞
トライ式高等学院 千種キャンパス
課題研究講座ボランティアコース

comment 里親制度への理解と認知を広めていこうという思いがとて素晴らしいと感じました。



カーコンビニ倶楽部賞
栃木県立栃木工業高等学校
栃工高国際ボランティアネットワーク

comment 20年以上も渡って、2000台以上の車椅子を海外に寄贈してきた継続性が本当に素晴らしいと感じました。



三交インホテルズ賞
海陽中等教育学校
STARCLE

comment 貧困による教育機会を補うだけでなく、物を大切にすること、廃棄を減らすことなど、多方面への好循環につながるものと思います。



SOMPO KEA賞
桜花学園高等学校
インターアクトクラブ

comment 圧倒的な活動範囲の広さと行動量で実践している姿がとても印象的。地域との連携や交流活性化は、当社とも親和性が高いと感じました。



DNP大日本印刷賞
佐賀県高校生ボランティア団体
「SAGAでんと」

comment 複数の高校が力を合わせていること、地域を巻きこみながらの活動であることがDNPの考えに通じると考えました。



高輪会賞
兵庫県立北条高校
ふるさと創造部

comment 困難な中でも自分たちが出来ることを考えて新しいことにチャレンジされました。ぜひ今後も継続し、社会に大きく貢献されることを願っております。



日本ほめる連人協会賞
福岡県立直方特別支援学校
肢体不自由教育部門 高等部AB類型

comment できないことではなく、できることに目を向ける。ないものではなく、あるものに目を向ける。そして誰かを笑顔にして、自分たちも笑顔になる。その姿勢の尊さを教えていただきました。

高校生ボランティア・アワードはボランティアを行う高校生たちの「志」を応援する大会ですので、全てのエントリー団体を表彰していますが、それとは別に応援団や協賛企業から特に気に入った団体に特別賞を贈っています。

今年は協賛9社各賞に名古屋国際会議場賞、応援団から各賞、国境なき医師団賞、野口健賞、鎌田寛賞、そしてさだまさし賞と17の特別賞が贈呈されました。さらに、一般のネット投票により、動画部門とポスター部門の最多得票賞を贈りました。

ボランティア活動は本来比較すべきものではありませんが、多少の競技性はいい意味で活動のモチベーションに繋がるのではないかと思います。何より受賞した生徒たちの笑顔が素晴らしかったです。



国境なき医師団賞
福井県立福井商業高等学校
JRC部

comment コロナ禍で取り残される社会的弱者の立場になって活動されていることが素晴らしいと感じました。



マイナビ賞
八王子学園八王子高等学校
ボランティア部

comment 自分たちの身近にいる同じ学校の生徒を巻き込んでいくことは、意外と盲点です。仲間を増やす活動は、より大きな取り組みに成長していく一歩だと感じました。



野口健賞
神戸市立科学技術高等学校
空飛ぶ車いす研究会

comment 活動の継続性と、送る際に送料をかけたアイデアに感銘しました。



ライオンズクラブ賞
沖縄県立北部農林高等学校
林業緑地科&エコ部

comment 活動がライオンズクラブの理念と合致しているという点。皆さんの地元でライオンズクラブが必ずありますので、ぜひ将来一緒にボランティア活動を楽しみましょう。



新羅慎三賞
白石踊800年の伝統を受け継ぐ会

comment 地域の文化や風習から学ぶことは大事。特に島外から集まって文化を継承しようとしていることに感銘を受けました。



名古屋国際会議場賞
おかやま山陽高等学校
アッケシソウを守るおかやま山陽プロジェクト
(サッカー部・空手道部・コスプレ部)

comment 高校生だからこそできる活動を地に足をつけてしているひたむきな姿。地域の広報活動にも繋がっているととても素晴らしいと思います。



もみろクローバーズ賞
徳島市立高等学校
市高ドナーアクション委員会

comment 重たい内容を明るくPRしていた点。ネガティブなイメージの死の先を考えることで助かる人も増えると思います。



テツandトモ賞
青森県立名久井農業高等学校
環境班Hunters

comment 「100回だめなら1000回やればいい」が心に残りました。高校生が世界を動かしていることを実感しました。



オイスカ高等学校
環境SDGsプロジェクト

comment これぞSDGsという活動です。砂浜ゴミ拾い選手権は高校生ならではの発想だと思いました。



さだまさし賞
大阪府立堺工科大学定時制の課程
ボランティア活動部

comment スローガン「捨てればゴミ、活かせば資源」に感激しました。自己有用感を高めるための支援というコンセプトにも共感しました。

ネット投票最多得票賞



ネット投票最多得票賞 動画部門
佐賀県高校生ボランティア団体
「SAGAでんと」



ネット投票最多得票賞 ポスター部門
麗澤中学・高等学校
SDGs研究会「EARTH」

最後に大会委員長のさだまさしから
高校生の皆さんへメッセージ

みんな、気合を入れてコロナを追い払って、
来年は一箇所で会おう！
高校生の皆さん、長い時間本当にありがとう。
そして配信にお付き合いいただいた全国の皆様、
ありがとうございました。
こんなに頑張っている高校生たちがいる
ということが伝わったら、嬉しく思います。
風に立つライオン基金からのバトンが、
高校生たちに渡って
この活動が続いていくことを期待します。
来年もまた元気で会いましょう！
ありがとう！

ブースが作れなかった代わりに、事前に行ったオンライン交流会で発表団体の代表16団体を決めましたが、実は、今大会の最大の実績はこの交流会だったように思います。エントリーした殆どの団体が自分たちの活動をきちんと発表し、他団体の活動を知り、質疑応答を通して交流することができたからです。
簡単ではないですが、こうしたことを繰り返すことで、別の次元へと活動が広がっていく可能性を感じることができました。
ボランティアを支援することは風に立つライオン基金の大きな使命の一つですから、いろいろな形で交流していただく機会を作ることも、大切な支援の一つだと思いました。
ますます活発に交流して、より大きなムーブメントを起こしてくれること、そして、来年こそは会場で高校生たちの笑顔に会えることを期待しています。

「高校生ボランティア・アワード2021」開催にあたり、ご寄付くださった皆様、投票にご参加くださった皆様、YouTubeで配信をご観くださったみなさま、日頃より応援くださっている全ての皆様に、心より御礼を申し上げます。

高校生ボランティア・アワード2021参加団体一覧

VOLUNTEER AWARD 2021

北海道	北海道士幌高等学校 ボランティアクラブ 農村地区の子どものための居場所作りへの取り組み 北海道大野農業高等学校 ボランティア部 気付き・考え・行動する	福北陸中学高等学校 弓道部 第21回 ユニセフチャリティー弓道大会 福井県立足羽高等学校 ESS部・JRC部 多文化共生	兵庫県	兵庫県立伊川谷高等学校 ボランティア部 地域と連携しながら、人形劇で子どもたちにフードロス問題を伝える 兵庫県立東播工業高等学校 空飛ぶ車いすサークル 使われなくなった車いすを修理再生しアジア諸国や被災地にプレゼントする活動 兵庫県立北条高校 ふるさと創造部 地域に元気を届けよう！ 神戸大学附属中等教育学校 ESD Food プロジェクト 食を通して考える持続可能な社会と生活 兵庫県立神戸商業高等学校 理科研究部×生徒会 神戸商業高校の海洋ごみ削減に向けた取り組み	
青森県	青森県立久井農業高等学校 環境班 Hunters 視点はSDGs ～日本の伝統技術で世界に貢献～ 青森県立五所川原農林高等学校 6次産業研究室 地域資源「青森りんご」を活用したフードバンクプロジェクト	福井県	福井県立丸岡高等学校 お城のまちの演奏隊 地域とつながる お城のまちのコンサート 福井県立丸岡高等学校 ESS部 多文化共生、wellbeingに向けて 福井県立福井商業高等学校 JRC部 一歩、前に踏み出したくて 福井県立丸岡高等学校 地域協働部 miPlan(マイまちづくりプラン)で地域を元気に	奈良県	奈良県立情報商業高等学校、 奈良県立商業高等学校 部局たまつえ 桜井をもっとメジャーに！今だからこそできること
岩手県	盛岡市立高等学校 自然科学部 若手県若泉町龍泉洞地底湖及びその周辺における環境調査	山梨県	身延山高等学校 手話コミュニケーション部 震災を忘れない～ろう者ととの10年間の絆～	和歌山県	和歌山県立和歌山北高等学校 JRC部 地域を知り、地域を語り、地域とつながる 和歌山信愛中学校高等学校 Global Activity Club Guidebook Agriculture Connection 和歌山県立神宮高等学校 NAGA-B.C.C. 放送部 FLORIA 岩出署高校生広報員
山形県	山形県立山形工業高等学校 科学ボランティアグループ(SVG) 子どもたちに「科学の不思議や楽しさ」を伝える活動	長野県	長野県松川高等学校 ボランティア部 平和をつなぐメッセンジャー	島根県	島根県立平田高等学校 JRC 私たちが目指す防災啓発
福島県	福島県立郡山萌世高等学校 定時制課程 読み聞かせボランティア 読み聞かせボランティア	岐阜県	岐阜県立岐阜高等学校 自然科学部生物講座 魚班 実現しよう、外来魚の命のサイクル	岡山県	岡山県立倉敷古池池高等学校 ワッショイ！とーかーず！子ども食堂チーム 子ども食堂ソーシャルバンク 岡山県立倉敷古池池高等学校 ワッショイ！とーかーず！地域社会チーム 私たちが地元を元気に！ 山陽学園高等学校 地歴部 瀬戸内海の海洋ごみ問題の解決に向けた「自分事」化作戦
茨城県	江戸川学園取手高等学校 調理同好会 えどとりフードドライブ	静岡県	静岡県立駿河総合高等学校 M-SIPP フェアトレードとエシカル消費 静岡県立静岡商業高等学校 農育プロジェクト「いきものがかり」 [SHIZUOKA STRAW PROJECT] 誠心学園浜松開誠館中学校 科学部 SDGs部 開誠館 Making Tomorrow Project 浜松学芸高等学校 ボランティア部 高校生でもできる支援活動 富士宮北・富士宮西・富士宮東・富士館・星陵高校、 富士宮学園富士宮専修学校 富士宮高校会議所 SDGs実践 マスマス元肥を使って、富士宮をマスマス元気に!!～富士宮を持続可能な地域社会へ～ 静岡県立駿河総合高等学校 特定非常勤活動法人 New Universal Act 人々まもろう！防災!! オイスカ高等学校 環境SDGsプロジェクト 浜と松プロジェクト	広島県	広島市立広島工業高等学校 広島市工サイエンス工房 高校生による持続可能な社会の実現 ～ユニバーサル・エンジニアを目指して～
群馬県	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 JRC・インターアクト部 「もったいない」を「ありがとう」に 群馬県立高崎高等学校 JRC サイクリングロードに咲かせよう 笑顔のコスモス グリーン作戦 くま国際アカデミー高等部 女子学生ヘッドネーション同好会 女子学生ヘッドネーション同好会 ～小児癌の子ども達に無償で幸運のウィッグを～	東京都	トライ式高等学院 千種キャンパス 課題研究講座 ボランティアコース 親親普及啓発活動～すべての子どもに温かい家庭を～ 愛知県立内海高等学校 地域とあゆむボランティア 地域とあゆむボランティア 愛知県立岡崎高等学校 JRC部 今、必要とされているボランティア活動を考え、実践！ 南山国際高等学校 ボランティア・グループ Sクラブ 社会福祉ボランティア Sクラブ活動 愛知県立春日井東高等学校 ボランティア委員会 Feeling & Volunteering 桜花学園高等学校 インターアクトクラブ 未来に 羽ばたけ！しあわせ届け隊 愛知県立香和高等学校 JRC部 今、私たちにできること 豊橋中央高等学校 ユネスコ委員会・ユネスコ同好会 世界のことを考え、地元とSDGsにつながる活動 名古屋経済大学市部高等学校 社会科SDGs有志メンバー 誰1人取り残さない 中部大学春日丘高等学校 インターアクトクラブ 目の前の人を笑顔に 海陽中等教育学校 STARCLE 参考書が必要とする方たちの手元に届けるオンラインサービス	山口県	宇部フロンティア大学付属香川高等学校 ユネスコ部 地域の安全を守る反射材付きアイテムの製作・販売・寄付 山口県立萩高等学校 JRC部 私たちにできるSDGs
埼玉県	埼玉県立栗橋北彩高等学校 ボランティア部 防災すごろく…大水から命を守ろう 立教新座高等学校 生物部 黒目川の環境調査	千葉県	千葉県立我孫子東高等学校 図書委員会 小さな一歩を 大きな一歩へ 千葉県立松戸南高等学校 科学部研究部TEAM QUAD-E 環境保全のための土木工学的技術サポート 千葉県立安房高等学校 沖ノ島・森林再生チームX 沖ノ島・森林再生プロジェクトX 千葉県立国府台高等学校 生物部 ヒメマイトンボと江戸川に関する生態調査 麗澤中学・高等学校 SDGs研究会「EARTH」 「今、私たちにできること」 私たちの活動を世界中へ 光英VERITAS高等学校 インターアクト・ボランティア部 「エコキャップ回収運動」&「季節の便り」	徳島県	徳島市立高等学校 市高Dナークション委員会 機器移植 徳島市立高等学校 家庭クラブ infinity ～徳島の可能性は無限大～ 徳島県立阿南光高等学校 緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム 考えよう 未来の地球のために 私たちができること 「私たちは コロナに負けない! もう少し、みんなで、がんばろう!」プロジェクト
東京都	安田学園中学校高等学校 インターアクトクラブ 墨田区の防災 八王子学園八王子高等学校 ボランティア部 コロナ禍ボランティア 広尾学園高等学校 じゃかぶる 日本伝統文化の魅力を外国人に向けて発信、 地域活性化を図る 東京都立千早高校 CBP(はなまる) マルシェとCBPの取り組みを広める 東京学芸大学附属国際中等教育学校 ソーシャルアクションチーム 中高生があたりまえに参画できる社会を実現する 関東第一高等学校 インターアクトクラブ 奉仕と交流活動 豊南高等学校 手話部 私たちの未来は明るい 順天高等学校 社会福祉部 東京の北にあるだけじゃない! 魅力たっぷり北区!	愛知県	徳島市立高等学校 家庭クラブ infinity ～徳島の可能性は無限大～ 徳島県立阿南光高等学校 緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム 考えよう 未来の地球のために 私たちができること 「私たちは コロナに負けない! もう少し、みんなで、がんばろう!」プロジェクト	香川県	香川県立三本松高等学校 献血ボランティアグループ Blood Donation Project ～日本一小さな県の取り組みを全国へ～
神奈川県	神奈川県立横浜南陵高等学校 社会福祉部 人との繋がりを大切に 日本女子大学附属高等学校 人形劇団ヘロッコ 人形のいる空間が一体感を生む 桐蔭学園高等学校 インターアクトクラブ 未来へ繋ぐ・未来を創る 横浜清風高等学校 インターアクトクラブ 社会問題に立ち向かって行く私たち 慶應義塾湘南藤沢高等部 環境プロジェクト 高校生にできることをする 平塚学園高等学校 IAC部 湘南ノ海岸 神奈川県立中央農業高等学校 農業クラブ本部 食をつなぐ～フードバンクを通して～	三重県	三重県立伊勢南高等学校 インターアクト部 福祉授業とボランティアを通じた地域との交流	高知県	高知県立伊野商業高等学校 商業技術部(商業技術部内 和紙研究会) 土佐和紙を世界に!
静岡県	静岡県立静岡商業高等学校 農育プロジェクト「いきものがかり」 [SHIZUOKA STRAW PROJECT] 誠心学園浜松開誠館中学校 科学部 SDGs部 開誠館 Making Tomorrow Project 浜松学芸高等学校 ボランティア部 高校生でもできる支援活動 富士宮北・富士宮西・富士宮東・富士館・星陵高校、 富士宮学園富士宮専修学校 富士宮高校会議所 SDGs実践 マスマス元肥を使って、富士宮をマスマス元気に!!～富士宮を持続可能な地域社会へ～ 静岡県立駿河総合高等学校 特定非常勤活動法人 New Universal Act 人々まもろう！防災!! オイスカ高等学校 環境SDGsプロジェクト 浜と松プロジェクト	滋賀県	滋賀県立八日市南高等学校 地域支援活動部 東北ボランティア活動で学んだことを地域に還元する活動	福岡県	福岡県立直方特別支援学校 肢体不自由教育部門高等部AB類型 私たちにできる地域貢献活動
千葉県	千葉県立我孫子東高等学校 図書委員会 小さな一歩を 大きな一歩へ 千葉県立松戸南高等学校 科学部研究部TEAM QUAD-E 環境保全のための土木工学的技術サポート 千葉県立安房高等学校 沖ノ島・森林再生チームX 沖ノ島・森林再生プロジェクトX 千葉県立国府台高等学校 生物部 ヒメマイトンボと江戸川に関する生態調査 麗澤中学・高等学校 SDGs研究会「EARTH」 「今、私たちにできること」 私たちの活動を世界中へ 光英VERITAS高等学校 インターアクト・ボランティア部 「エコキャップ回収運動」&「季節の便り」	京都府	京都府立東稜高等学校 東稜高等学校 私たちに、今、できること 京都府立綾部高等学校 分析化学部 地域と取り組む由良川保全活動 ～コロナ禍における新たな挑戦～	佐賀県	佐賀県高校生ボランティア団体 SAGAでんと withコロナ時代ゆえの「ふるさと佐賀」での様々な課題解決のために高校生からできる活動
東京都	安田学園中学校高等学校 インターアクトクラブ 墨田区の防災 八王子学園八王子高等学校 ボランティア部 コロナ禍ボランティア 広尾学園高等学校 じゃかぶる 日本伝統文化の魅力を外国人に向けて発信、 地域活性化を図る 東京都立千早高校 CBP(はなまる) マルシェとCBPの取り組みを広める 東京学芸大学附属国際中等教育学校 ソーシャルアクションチーム 中高生があたりまえに参画できる社会を実現する 関東第一高等学校 インターアクトクラブ 奉仕と交流活動 豊南高等学校 手話部 私たちの未来は明るい 順天高等学校 社会福祉部 東京の北にあるだけじゃない! 魅力たっぷり北区!	大阪府	関西学院千里国際中等部・高等部 SDGs For Children SDGs For Children 大阪府立堺工科大学 定時制の課程 ボランティア活動部 被災地支援による環境保全プロジェクト 大阪府立枚方南高等学校 阪東山戦隊ショウワフジャー(地域貢献部) 飛び出せ地域密着型ヒーローショウワフジャー& 地域情報発信ショップ	熊本県	熊本県立南高等学校 ボランティア部 チーム I 「令和2年7月豪雨」を経験して
神奈川県	神奈川県立横浜南陵高等学校 社会福祉部 人との繋がりを大切に 日本女子大学附属高等学校 人形劇団ヘロッコ 人形のいる空間が一体感を生む 桐蔭学園高等学校 インターアクトクラブ 未来へ繋ぐ・未来を創る 横浜清風高等学校 インターアクトクラブ 社会問題に立ち向かって行く私たち 慶應義塾湘南藤沢高等部 環境プロジェクト 高校生にできることをする 平塚学園高等学校 IAC部 湘南ノ海岸 神奈川県立中央農業高等学校 農業クラブ本部 食をつなぐ～フードバンクを通して～	兵庫県	神戸市立科学技術高等学校 空飛ぶ車いす研究会 空飛ぶ車いす活動 甲南高等学校 ボランティア委員会 コロナ禍でもできるボランティア (高齢者とのオンライン交流会) 兵庫県立神崎高等学校 ボランティア部 今、私たちにできること	沖縄県	沖縄県立宮古総合実業高等学校 ボランティア部 手作り帽子でハッピーに!! 沖縄県立北部農林高等学校 林業緑地科&エコ部 北農さくらプロジェクト